



2016年4月28日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	11,993円
純資産総額	4,775百万円
受益者数(直販)	1,683人(+37)

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	73.3%	2.8%
現金等	26.7%	▲2.8%
構成銘柄	53社	+1社

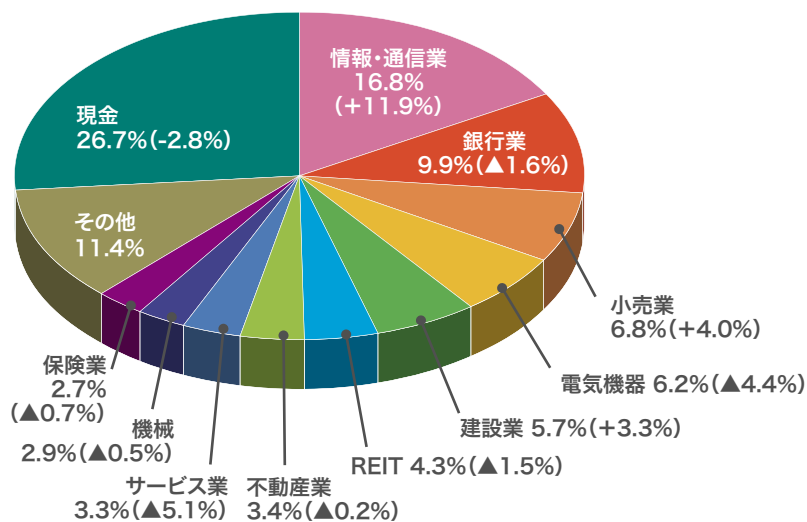
分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)
0円	0円

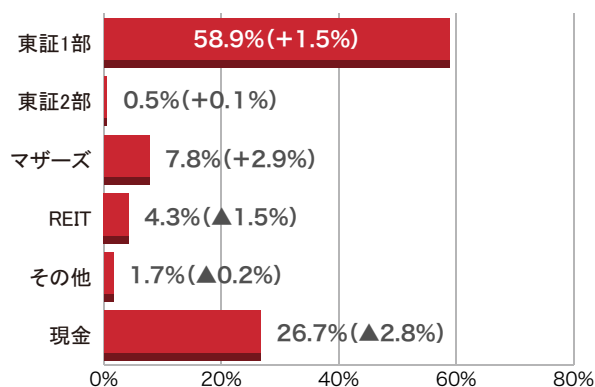
基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
0.85%	▲1.70%	▲9.87%	▲11.89%	19.93%

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



● 比率は純資産総額を100%として計算しております。 ● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

市場概況

月初(1日)の日銀短観(日銀が行う全国企業短期経済観測調査)発表で企業の景況感が悪化したことなどから、11日まで株価は大きく下落しました。その後(12日から)、原油価格の上昇や日銀の追加緩和期待による円安などにより、株価は堅調に推移しましたが、月末(4/28)、市場の期待に反して日銀が金融政策を現状維持したこと、株価は急落(ドル円は一時106円台前半まで急騰)しました。TOPIXの月間リターンは0.49%の下落、日経平均は0.55%の下落となりました。

詳細は以下の通りです。1日に発表された日銀短観で企業の景況感が悪化したことや、米長期金利の低下を受けた円高により、幅広い銘柄で売りが広がりました。その後も11日まで原油安や107円台まで円高が進行するなど軟調な展開が続き、日経平均は8日に月間最安値15471円(ザラ場)を付けました。12日以降は円安の進行や米株高、原油価格の上昇などにより、外需株や資源関連株など幅広い銘柄に見直し買いが入り上昇しました。17日の産油国会合で原油増産凍結の合意先送りを受けて一時的に原油価格が急落、及び円高により株価も急落しましたが、19日以降は再び原油価格が上昇、かつ日銀の追加緩和期待を背景とした円安進行による業績懸念の後退などにより、25日(ザラ場月間最高値17613円)まで堅調な推移となりました。下旬は、26～27日開催のFOMC(米連邦公開市場委員会)や27～28日の日銀金融政策決定会合を前に様子見ムードとなり横ばいの展開が続き、月末となる28日は、前日にFOMCが利上げを見送ったことから小高くなり始めましたが、市場で期待が高まっていた追加緩和に反して、日銀が金融政策の現状維持を決定したこと、ドル円は一時106円台前半まで急騰、日経平均は16666円と前日比3.61%の大幅下落となりました。

主な株式指数をリターン順に見ると、東証マザーズ指数(+10.85%)、日経JASDAQ平均(▲0.08%)、TOPIX(▲0.49%)、日経平均株価(▲0.55%)、JASDAQ指数(▲1.05%)、東証2部(▲2.02%)となりました。TOPIX規模別では、ラージ70(+0.43%)、ミッド400(▲0.5%)、コア30(▲0.78%)、スモール(▲2.05%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、石油・石炭製品(+9.02%)、ガラス・土製品(+6.65%)、水産・農林業(+6.39%)でした。同下位3位は、電気・ガス業(▲5.18%)、証券・商品先物取引業(▲4.81%)、輸送用機器(▲4.71%)でした。なお33業種のうち15業種がプラスリターンになっています。

運用状況

◎4月の主な投資行動

月初(4/1)発表の日銀短観が失望された場合の株価下落リスクに備え、先月末(3/31)時点で株式等組入比率(以下、同比率)を70.4%まで引き下げていました。実際、ネガティブな日銀短観が発表され月初から11日まで株価は大幅に下落、当ファンドはこの局面を70%程度の同比率で乗り切ることができました。12～18日にかけては電気機器などを買い増すことで同比率を85%程度まで引き上げました。22日13時過ぎには、「日銀、民間への貸し出し増加を支援のため、金融機関に対する貸し出しにもマイナス金利適用を検討」という報道が市場に伝わり、メガバンクを中心に銀行株が急騰、翌25日前場に銀行業を一部売却しました。27日にかけては円安を背景に上昇していた電気機器などを一部売却することで同比率を段階的に70%程度まで引き下げました。月末(28日)正午頃に日銀は市場の期待に反して金融政策の現状維持を発表、後場寄りからの株価急落局面においては、下落していた情報通信業や証券商品先物業などを買い付け、月末の同比率を73.3%にしました。

◎4月のファンド月間リターンとその要因

4月末の基準価額は11993円(3月末11892円)、ファンドの月間リターンは0.85%の上昇となりました。主な要因は、当月に組入比率を大きく引き上げた情報通信業や、前月末より組入上位としていたREITなどが上昇したことによるものです。情報通信業の業種指数は、当月2.54%の上昇、REITについては1.48%の上昇となりました。なお、当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIX(以下、同指数)は0.49%の下落となっています。当ファンドが同指数を上回った主な要因は、当ファンドでほぼ保有していなかった輸送用機器(組入比率前月末0.6%→当月末0.3%)が同指数のリターンを大幅に下回った(4.71%下落)ことや、同指数に含まれないREITが同指数を上回るリターン(1.48%上昇)となったことなどです。

◎4月末のポートフォリオ

株式等組入比率は73.3%(前月末比+2.8%)に引き上げており、逆にキャッシュ比率は26.7%(同▲2.8%)に引き下げています。市場別構成比率では、東証1部58.9%(同+1.5%)、東証マザーズ7.8%(同+2.9%)、REIT4.3%(同▲1.5%)、などとなっています。業種別では、1位が情報通信業16.8%(同+11.9%)、次いで銀行業9.9%(同▲1.6%)、小売業6.8%(同+4.0%)となりました。組入銘柄数は53銘柄(同+1)となりました。

● 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

2016年5月9日 運用部長 糸島 孝俊

組入上位5銘柄の紹介

(2016年3月31日現在)

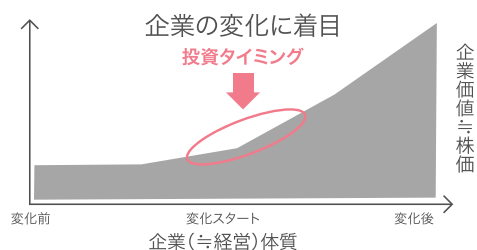
銘柄名		概要
業種	組入比率	
三井住友フィナンシャルグループ		3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
銀行業	4.5%	
日本アコモデーションファンド投資法人		東京23区に所在する賃貸住宅を中心に質の高いポートフォリオを構築・運営。対象は、高稼働率を見込めるシングル・コンパクトタイプが中心。三井不動産からの物件の供給や同社グループを介した広範囲な物件情報を通じ、投資機会を獲得。
REIT	4.0%	
パナソニック		松下幸之助が制定した「綱領」が経営の根幹。課題と位置づけた7事業の構造改革を完遂し、事業戦略は売上成長による利益創出に移行。エアコン、ライティング、ハウジングシステム、インフォテインメント、二次電池、パナホームなどの売上高、収益性の改善に注力。
電気機器	3.5%	
三菱重工業		世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
機械	3.4%	
みずほフィナンシャルグループ		メガバンクの一角。旧富士銀行、第一勧業銀行、日本興業銀行が前身。銀行・信託・証券をフルラインで擁する。「One MIZUHO」の旗印のもと、グループ全体の強化や、日本およびアジア、グローバルの発展を取り込む開かれた総合金融グループを目指す。
銀行業	3.4%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

運用方針

変化しはじめた企業、変化にチャレンジする企業を中心に中長期の視点で厳選し、ダイナミックな運用を行います。

定性評価



- ・5-10年の中長期的な視点で企業変化に着目
- ・「マネジメントが変化した企業」や「時代の変化に対応する企業」

日本株のみに厳選投資

50銘柄

- ・投資対象は大型から小型株
- ・企業取材など直接的なボトムアップ・アプローチに基づく調査を実施
- ・相場見通しや個々の株価水準に合わせて、より株価上昇の確度が高い約50銘柄を厳選
- ・50銘柄で分散効果は十分可能

定量評価

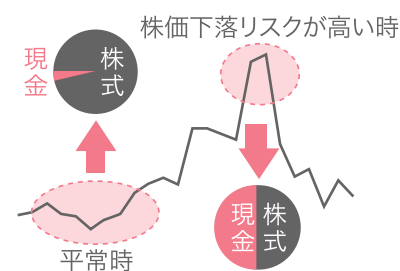
株価に対する割安度合い

- ・PER、PBR、配当利回りなど株価に対する指標(バリエーション)

収益力の変化と持続性

- ・ROE、利益成長率、利益率など株価上昇による割安感が解消した場合や、さらに割安な銘柄を発掘した場合などには投資期間に関わらず売却

ダイナミックな運用



株式組入比率をダイナミックにコントロール

■ 運用報告動画「マンスリービジョン」のお知らせ

4月7日に収録した先月(3月)の月次運用報告動画では、目先の弱含む相場見通しを凍てつく『深夜の雪国』になぞらえて運用状況を説明しました。また、4月に開催した運用報告会(四半期毎に東名阪を中心に開催)では、3月の株価急騰が年を通して持続するのではなく、2016年は今後2～3年を見通す中で値固めの年になるということを参加者にお伝えしました。月次運用報告動画では、月次レポートの内容だけでなく、今後の見通しを示唆するメッセージも発信する予定です。ぜひご覧ください。

4月のマンスリービジョン(3月次報告)動画 <https://youtu.be/aKWSorTgXFI>

5月のマンスリービジョンも近日公開予定です！



■ ザ・2020ビジョンセミナーのお知らせ

◎【大阪開催】6月4日(土)日本株ファンドで成功する長期投資入門(ザ・2020ビジョン入門セミナー)

「ザ・2020ビジョン」のファンドマネージャー自ら、「日本株」、「長期投資」をテーマに、今後の日本株投資の可能性や、長期投資の必要性についてお話しします。投資初心者の方や、これから日本株ファンドに投資をしてみたい方、またこれまでの日本株投信には満足できない、という方にぜひお聞きいただきたい内容となります。

お申込は弊社コールセンター 03-3221-9230(平日午前9時～午後5時)もしくは

<http://www.common30.jp/seminars/detail/370> からお願いいたします！

◎「ザ・2020ビジョン」2016年4-6月期運用報告会

下記の日程で開催予定です。詳細・申込は5月中旬をメドに弊社ウェブサイトへアップする予定です。ぜひご予約おきいただけたら幸いです。

【神戸】7月15日(金) 19:00～20:30@神戸市中央区 【福岡】7月16日(土) 13:30～15:00@福岡市中央区

【東京】7月20日(水) 19:00～20:30@中央区日本橋 【名古屋】7月22日(金) 19:00～20:30@名古屋市中村区

【大阪】7月23日(土) 13:30～15:00@大阪市北区

<http://www.common30.jp/seminars/>

■ リオデジャネイロ・パラリンピック日本代表候補選手選考大会で応援！

ザ・2020ビジョンの寄付のしくみPOINTで応援する視覚障害者柔道連盟。

このGWには今年夏開催となるリオ・パラリンピックに向けて代表選手選考大会が、東京文京区にある講道館で開催されました。ファンドマネージャーの糸島をはじめとするコモンズ投信のメンバーも応援に行き、実力者揃いの白熱した試合に息を呑んだほどです。

詰めかけた報道陣は49社、応援に駆けつけた方々で客席も満席で立ち見の方もいらした程です。



そして、代表候補選手 7 名が決定。中にはご夫婦で選ばれた選手たちも！

連盟のHP も大きくリニューアルされ、視覚障害者柔道について改めて知りたかったことがたくさんつまっています。こちらをご覧ください、是非引き続きご注目ください <http://judob.or.jp/>



メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
4月1日	Bloomberg	【日本株週間展望】「軟調、業績不透明感と円高警戒 一株価割安感下支え」の中で糸島がコメントしました
4月7日	TV東京	モーニングサテライト【私の相場観】で糸島が電話出演しました
4月9日	日経新聞	朝刊 5面「市場に流動性供給も」で糸島がコメントしました
4月11日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「株の街」に感じる新しい息吹」と題し渋澤が寄稿しました
4月17日	日経ヴェリタス	63面「決算発表空前の集中の真相は」で糸島がコメントしました
4月20日	日経新聞	20面 M&I「親子で考える金銭の役割～小遣い通じ社会・経済に関心～」でコモンズ投信が紹介されました
4月20日	日経電子版	【国内株概況】「株1万7000円 乱高下一服、そーせい大商いは様子見の裏返し」で糸島がコメントしました

コモンズ投信のセミナー案内

セミナー名		日付	時間	場所
コモンズ 30 ファンド【7 周年記念イベント】		5月21日(土)	9:30～11:45	大阪府大阪市(エル・おおさか)
		5月22日(日)	9:30～12:00	愛知県名古屋市 (オフィスパーク名駅プレミアホール)
60 才からはじめてのコモンズ		5月27日(金)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
コモンズ投信ファンド説明会		5月11日(水)	19:00～21:00	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)
		5月14日(土)	14:00～16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		6月18日(土)		
コモンズまなび塾 はじめて学ぶ投資信託	DAY1 「投資信託の基礎」	5月17日(火)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		6月8日(水)	15:30～17:30	
	DAY2 「目論見書・運用報告書の読み方」	5月24日(火)	13:30～15:30	
		6月15日(水)	15:30～17:30	
	DAY3 「投資信託を選び方」	5月31日(火)	13:30～15:30	
		6月22日(水)	15:30～17:30	
コモンズ × あしたば未来塾 ゲームで学ぶ！ 「じぶん年金の作り方」(つみたて体験ゲーム)		5月19日(木)	19:00～21:00	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)
		6月21日(火)	19:00～21:00	
ジュニア NISA 徹底活用！ パパとママのためのこどもトラストセミナー	(お子様連れ可)	5月25日(水)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		6月14日(火)	13:30～15:30	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)
くつろぎ BAR		5月18日(水)	18:00～20:00	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)
		6月15日(水)		東京都千代田区(コモンズ・オフィス)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間/平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730 ■ウェブサイト http://www.common30.jp/
◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。 ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。	
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階	